

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷鷺羽高等学校		
実践者等	横山洋平	実践日	令和3年7月13日～29日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	総合的な探究の時間「児島未来学」 (（公大法）日本青年会議所主催「Challenge University with STEAM」共同授業)		
対象生徒（学年等）	1年次 普通科文理コース		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	Challenge University with STEAM ～RESASを用いて人口減少社会を考える～		
使用したアプリ等	Jamboard、スライド、Meet、Forms		
実践の概要（ねらい等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ RESAS（地域経済分析システム）の活用法を身につける。 ・ 効果的なプレゼンテーションの方法を身につける。 ・ 身近な社会問題について考える。 		
実践の内容			
<p>令和3年7月13日～29日の普通科文理コースで、総合的な探究の時間「児島未来学」の一環として、（公大法）日本青年会議所国家グループ次世代教育推進委員会が主催する「Challenge University with STEAM」のプログラムを実施した。プログラムでは、RESASの活用法について学び、それを用いて人口減少社会の解決策を考え、プレゼンテーションをする活動を行った。</p> <p>〈活動の概要〉※計14時間のプログラム</p> <p>(1) 7月13日（2時間）</p> <p style="padding-left: 2em;">単元のねらいの共有、STEAM教育についての講義、会議手法の理解と実践、ブレインストーミング（Jamboard）、RESASの使用法</p> <p>(2) 7月14～15日（4時間）</p> <p style="padding-left: 2em;">人口減少社会問題からテーマを設定（「倉敷市第7次総合計画」より）、基礎データについて調査（インターネット）、RESASのデータ収集、メディアリテラシーについての講義</p> <p>(3) 7月16日（2時間）</p> <p style="padding-left: 2em;">各グループで解決策を考える、中間発表に向けての準備（スライド）</p> <p>(4) 7月21日（2時間）</p> <p style="padding-left: 2em;">中間発表（スライド、Meet）、アドバイザリーボードからのコメント（Meet）</p> <p>(5) 7月28日（2時間）</p> <p style="padding-left: 2em;">アドバイザリーボードからの助言を受けてプレゼン修正（スライド）</p> <p>(6) 7月29日（2時間）</p> <p style="padding-left: 2em;">最終発表（スライド、Meet）、アドバイザリーボードからのコメント・最終評価（Meet）、活動の振り返り（Forms）</p>			
参考となるHP等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本青年会議所 https://www.jaycee.or.jp/2021/activity_report_council/jcikojima ・ 児島青年会議所 https://m.facebook.com/kojimajc/ 		

RESAS 活用の講義



Jamboard でのブレインストーミング



遠隔地からも Meet で参加

